

慣用句の意味を知ろう【解答】

基礎

慣用句は「まとまり」で意味を考える

① 言葉が結びつく

顔 + 広い



② ひとまとまりで読む

顔が広い



③ 慣用句としての意味

知り合いが多い

「顔そのものが大きい・広い」という意味ではありません。

× 文字どおりだけで考える

「顔」 + 「広い」だから、顔の大きさのこと？

○ まとまり全体で考える

「顔が広い」という一まとまりで「知り合いが多い」という意味になる。

体の部位を使った慣用句の例

目

目を丸くする
とても驚く

耳

耳を傾ける
よく聞く

口

口が堅い
秘密を話さない

手

手を焼く
扱いに困る

胸

胸をなで下ろす
安心する

腹

腹を割る
本心を打ち明ける

解くコツ：①言葉をまとまりで読む → ②前後の文や場面を見る → ③体の部位そのものの意味と区別する

慣用句とは 最も適切なものの記号に○をつけなさい。

問1 「顔が広い」の意味として最も適切なものはどれですか。

ア 顔が大きいこと

イ 知り合いが多いこと

ウ 表情が豊かなこと

答え イ

補足：「顔が広い」は、知り合いが多く、交際範囲が広いことを表す。

文字どおりの意味との違い 最も適切なものの記号に○をつけなさい。

問2 「耳が痛い」の慣用句としての意味はどれですか。

ア 耳に痛みがあること

イ 大きな音を聞くこと

ウ 自分の弱点を指摘されて聞くのがつらいこと

答え ウ

補足：体の耳が痛むという意味ではなく、自分にも思い当たる注意や批判を聞くのがつらいことを表す。

体の部位を使った慣用句 最も適切なものの記号に○をつけなさい。

問3 「口が堅い」の意味として最も適切なものはどれですか。

ア 秘密をむやみに話さない

イ 大きな声で話さない

ウ 難しい言葉を使う

答え ア

補足：「口が堅い」は、秘密などを簡単に他人へ話さないことを表す。

確認問題 最も適切なものの記号に○をつけなさい。

問4 「手を焼く」の意味として最も適切なものはどれですか。

ア 手を温める

イ 扱いに困る

ウ 仕事を急ぐ

答え イ

補足：「手を焼く」は、扱いに困ったり、世話に苦労したりすることを表す。

慣用句の意味と使い方【解答】

基礎～標準

意味を選ぼう 最も適切なものの記号に○をつけなさい。

問1

「甘いものに目がない」の意味として最も適切なものはどれですか。

ア

よく見えない

イ

とても好きである

ウ

注意力がない

答え イ

補足：「～に目がない」は、ある物事がとても好きで、夢中になりやすいことを表す。

問2

「鼻が高い」の意味として最も適切なものはどれですか。

ア

においに敏感である

イ

緊張している

ウ

得意で誇らしい

答え ウ

補足：「鼻が高い」は、自慢に思い、得意な気持ちになることを表す。

問3

「腕を上げる」の意味として最も適切なものはどれですか。

ア

技術や能力が上達する

イ

力仕事を始める

ウ

腕を高く持ち上げる

答え ア

補足：「腕を上げる」は、技術や能力が以前より上達することを表す。

問4

「首を長くする」の意味として最も適切なものはどれですか。

ア

緊張して身構える

イ

今か今かと楽しみに待つ

ウ

周囲を注意深く見回す

答え イ

補足：「首を長くする」は、今か今かと楽しみに待つことを表す。

文に合う慣用句 文に合う慣用句の記号に○をつけなさい。

問5

先生から大会の代表に選ばれたと聞き、美咲は自信をもってみんなの前に立った。この様子に最も合う慣用句はどれですか。

ア

頭を抱える

イ

耳を傾ける

ウ

胸を張る

答え ウ

補足：「胸を張る」は、自信や誇りをもった態度をとることを表す。

問6

弟が何度注意しても同じいたずらを繰り返すので、家族は対応に困っている。この状況に最も合う慣用句はどれですか。

ア

手を焼く

イ

足を運ぶ

ウ

顔が広い

答え ア

補足：何度注意しても困らされる状況なので「手を焼く」が適切。

問7

結果発表で自分の名前を見つけ、心配していた健太はほっとした。この気持ちに最も合う慣用句はどれですか。

ア

腹が立つ

イ

胸をなで下ろす

ウ

目を丸くする

答え イ

補足：「胸をなで下ろす」は、心配事がなくなって安心することを表す。

問8

先輩は忙しいのに、困っている一年生の相談に最後まで付き合ってくれた。その姿には本当に感心する。この気持ちに最も合う慣用句はどれですか。

ア

口を出す

イ

足が棒になる

ウ

頭が下がる

答え ウ

補足：「頭が下がる」は、相手の立派な行いに感心し、敬う気持ちになることを表す。

発展

問1 文化祭の準備で次々に問題が起こり、どうすればよいか分からなくなった実行委員長は（ ）。

語群 胸を張る / 頭を抱える / 耳を傾ける

答え 頭を抱えた

補足：解決方法が分からず深く悩む状況なので「頭を抱える」を文に合う形にした「頭を抱えた」が適切。

問2 遠くの博物館でしか見られない展示を見るため、休日に家族でそこへ（ ）。

語群 手を貸す / 口を出す / 足を運ぶ

答え 足を運んだ

補足：ある場所へわざわざ出向くことを表す「足を運ぶ」を文に合う形にした「足を運んだ」が適切。

問3 友人が真剣に悩みを話し始めたので、私は途中で口をはさまず、その話にじっくり（ ）。

語群 耳を傾ける / 鼻が高い / 手を焼く

答え 耳を傾けた

補足：相手の話を注意深く聞くことを表す「耳を傾ける」を文に合う形にした「耳を傾けた」が適切。

問4 一日中町を歩いて調査を続けたため、帰るころには（ ）。

語群 顔が広い / 足が棒になる / 腕を上げる

答え 足が棒になった

補足：長時間歩いて足がひどく疲れた状況なので「足が棒になる」を文に合う形にした「足が棒になった」が適切。

問5 突然、無名だった選手が全国大会で優勝したと聞き、クラスみんなが驚いた。この様子に最も合うものはどれですか。

ア 目がない

イ 目を丸くする

ウ 目に余る

答え イ

補足：大きく驚く様子を表す「目を丸くする」が適切。

問6 二人は遠慮せず、本当に思っていることを率直に話し合うことにした。この状況に最も合うものはどれですか。

ア 腹が立つ

イ 胸を張る

ウ 腹を割る

答え ウ

補足：「腹を割る」は、隠し事をせず、本心を打ち明けて話すことを表す。

問7 料理の練習を続けてきた姉は、以前より手際よくおいしい料理を作れるようになった。この変化に最も合うものはどれですか。

ア 腕を上げる

イ 手が離せない

ウ 首を長くする

答え ア

補足：技能が向上したことを表すため「腕を上げる」が適切。

問8 みんなで決めようとしていることに、事情をよく知らない人が横から何度も意見を言ってきた。この行動に最も合うものはどれですか。

ア 口が堅い

イ 口を出す

ウ 顔が広い

答え イ

補足：関係することに横から意見や干渉をすることを「口を出す」という。

慣用句 定期テスト対策【解答】

テスト

意味 最も適切なものの記号に○をつけなさい。

問1

「顔から火が出る」の意味はどれですか。

ア

とても怒っている

イ

とても恥ずかしい

ウ

顔が熱で赤くなる

答え イ

補足：「顔から火が出る」は、非常に恥ずかしい気持ちになることを表す。

問2

「手を貸す」の意味はどれですか。

ア

握手をする

イ

道具を渡す

ウ

人を助ける

答え ウ

補足：「手を貸す」は、人の仕事や作業などを助けることを表す。

問3

「目を丸くする」の意味はどれですか。

ア

とても驚く

イ

注意深く見る

ウ

眠くなる

答え ア

補足：「目を丸くする」は、とても驚く様子を表す。

慣用句選択 意味に合う慣用句の記号に○をつけなさい。

問4

「秘密を簡単には人に話さない」という意味に合う慣用句はどれですか。

ア

口を出す

イ

口が堅い

ウ

耳が痛い

答え イ

補足：秘密を守り、むやみに話さないことを「口が堅い」という。

問5

「文章や資料などを一通り読む」という意味に合う慣用句はどれですか。

ア

手を焼く

イ

鼻が高い

ウ

目を通す

答え ウ

補足：文章や資料などを一通り読むことを「目を通す」という。

問6

「相手の立派な行いに感心し、敬う」という意味に合う慣用句はどれですか。

ア

頭が下がる

イ

鼻が高い

ウ

足が棒になる

答え ア

補足：相手の行いや努力に感心し、敬意を感じることを「頭が下がる」という。

文中補充 空欄に入る慣用句を書きなさい。必要に応じて文に合う形に直しなさい。

問7

発表会が無事に終わったと聞いて、担任の先生は（ ）。

答え 胸をなで下ろした

補足：心配していたことが無事に終わって安心した場面なので「胸をなで下ろした」が適切。

問8

地域の人の話を直接聞くため、私たちは何度も現地へ（ ）。

答え 足を運んだ

補足：実際にその場所へ出向いたことを表すため「足を運んだ」が適切。

問9

将棋の大会で強い相手と対戦できると知り、実力を試したかった兄は（ ）。

答え 腕が鳴った

補足：自分の力を発揮したくて意欲がわくことを「腕が鳴る」という。